

出された質問・意見（○質問 ●意見）

- ゴミステーション、ゴミボックスの違い⇒ゴミステーションはゴミを置くスペースで、ゴミボックスはゴミを捨てる箱で、置けない場所もある。
- 粗大ゴミステーションはどのようなものか⇒粗大ゴミステーションは自治会で設置している。
- 粗大ゴミステーションに通常ゴミは捨ててはいけない。
- ゴミの処理に苦労しているが⇒持ち主を探して、見つからない場合市が片づける。
- 環境美化協力委員の活動はどれくらいの頻度か⇒各地域の組、研修会、ゴミステーションの清掃をおこなっている。
- 大学の周辺でも活動はされているのか⇒活動している。しかし、苦情が多く寄せられている。
- 学生が自治会へ参加するのはどうか⇒個々の学生とはコンタクトできない。アパートを管理している所有者とコンタクトしている。
- 市民のごみ出しのマナーはどうか⇒時間に出さなかったり、多少の苦情はある。ネットが掛かっていないなどの苦情。
- 環境パトロールはしているのか⇒年間の不法投棄のパトロールをしている。河川の清掃も行っている。そこで集めたゴミは市で回収している。
- 周知活動をしているのに大学生がマナーが悪いのはなぜか。⇒学生に周知できてないのが原因だと思われる。
- 引っ越しの時期にゴミの出し方の掲示、ホームページでの周知をしてみてはどうか⇒新入生オリエンテーションでゴミの出し方を説明している。情報提供はしているが、学生の意識の問題であると思う。ホームページ上でもっと周知を行う。
- ゴミの出し方のパンフレットだけではなく、もっと詳しく説明した冊子を用意するのはどうか⇒市のホームページに詳しく掲載しているのでそちらを見てほしい。大学周辺では2月、3月は大量のごみが発生する。もっと周知できるように検討していきたい。
- チラシについて、写真をもっと入れた方がいいのではないか。また大学生もゴミ協力員に入れたらどうか。⇒今後検討していきたい。
- 学生環境美化協力委員を新しく設置してはどうか⇒今後検討していきたい
- アパートの近くにゴミステーションがあるが、そこに捨てられないのはなぜか。⇒アパートによって、使うゴミステーションは決められている。自治会で普段管理しているものなので。
- 学生が要望すればゴミステーションは設置してもらえるのか。⇒最低10軒は必要。アパートだけでは難しい。許可は組合で行っているので、既存アパートだけでは難しいと思われる。近隣の世帯と併せて10軒以上の利用者があれば、申請を受け付け、設置許可は大月都留広域事務組合の判断となる。

評価結果・提案内容まとめ

- ・ゴミの出し方を市 HP に掲載したり、写真を使用するなど、より分かり易い分別方法を検討すべきである。
- ・学生のゴミ出しについて考えるならば、学生を地域にどう取り込むのかがポイントになる。ゴミステーションの管理は共有資源の管理であるため、その管理・運営について、学生の意見を反映するとともに、学生にも携わってもらう必要がある。



今後の方向性

- 今後の方向性等
- ゴミの適正な分別方法について、より広く周知を行っていく。
- また、ゴミの分別マナーについては、関係機関と連携を図り利用者の意識改革を図っていく。
- 【具体的内容】
- ・大月都留広域事務組合等においてもホームページに掲載を図り周知を行う。
- ・学生のごみの分別マナーについては、地域、大学等と連携を図り、学生を取り込んだ活動を行う（学生内のサークル等で美化に関する団体の立ち上げを行う）